

当案内及び過去に発行した案内は弊社ウェブサイト(<http://www.medience.co.jp/>)よりPDF形式にてダウンロードできます。

## 血糖管理目標値(HbA1c: NGSP値)の変更に伴う 「糖尿病検査報告書」改訂のお知らせ

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のお引き立てをいただき、厚くお礼申し上げます。

さてこの度、日本糖尿病学会から糖尿病治療におけるHbA1c(NGSP値)の目標値を改訂し、平成25年6月1日より新たに3つのカテゴリーに分けられたコントロール目標値を設定し実施する旨の発表(熊本宣言2013)がなされました。これは、多くの糖尿病患者における血糖管理目標値をHbA1c 7%未満とし、日本糖尿病学会が、今後も糖尿病発症予防に尽力するとともに、より良好な血糖管理を通じて糖尿病による合併症で悩む人々を減らすために尽力することを宣言するものです。なお、HbA1cの健常者基準値はこれまで通り変更ございません。

この改訂に伴い、弊社におきましても「糖尿病検査報告書」に記載する管理目標値の配色を新血糖管理目標値に沿って変更させていただきますので、取り急ぎご案内する次第です。

宜しくご利用を賜りますよう、お願い申し上げます。

敬具

### 記

#### 対象項目

- [03000] HbA1c (NGSP) 《酵素法》
- [03001] HbA1c (NGSP) 《HPLC》

#### 対象報告書

- 糖尿病検査報告書(NGSP版)

#### 変更期日

- 平成25年7月16日(火) 報告分より

## 熊本宣言2013

日本糖尿病学会は、糖尿病の予防と治療の向上に取り組んでいます。  
 糖尿病は、放置すると、眼・腎臓・神経などに合併症を引き起こします。  
 また、脳梗塞や心筋梗塞などの動脈硬化症も進行させます。  
 糖尿病となった方が健康で幸福な寿命を全うするためには、早期から良好な血糖値を維持することが重要です。

血糖の平均値を反映するHbA1c(ヘモグロビン・エイワンシー)を7%未満に保ちましょう。

あなたとあなたの大切な人のために  
 Keep your A1c below 7%

第56回日本糖尿病学会年次学術集会より

## (新) 血糖コントロール目標

目標	コントロール目標値 注4)		
	血糖正常化を 目指す際の目標 注1)	合併症予防 のための目標 注2)	治療強化が 困難な際の目標 注3)
HbA1c	6.0%未満	<b>7.0%未満</b>	8.0%未満

治療目標は年齢、罹病期間、臓器障害、低血糖の危険性、サポート体制などを考慮して、個別に設定する。

注1) 適切な食事療法や運動療法だけで達成可能な場合、または薬物療法中でも低血糖などの副作用なく達成可能な場合の目標とする。

注2) 合併症予防の観点からHbA1cの目標値を7%未満とする。対応する血糖値としては、空腹時血糖値130mg/dL未満、食後2時間血糖値180mg/dL未満をおおよその目安とする。

注3) 低血糖などの副作用、その他の理由で治療の強化が難しい場合の目標とする。

注4) いずれも成人に対しての目標値であり、また妊娠例は除くものとする。

日本糖尿病学会『糖尿病治療ガイド2012-2013 血糖コントロール目標 改訂版\*』より引用  
 \*発行元 文光堂(2013年発行)

## (改訂版) 糖尿病検査報告書(NGSP版)

●6月1日からの  
 血糖コントロール目標値改訂に併せ  
 配色の位置を変更します。

治療強化が困難な際の目標：8.0未満

合併症予防のための目標：7.0未満

血糖正常化を目指す際の目標：6.0未満

\* 報告書のサイズを縮小して掲載しています。  
 報告書裏面には、(新)血糖コントロール目標を記載しました。